

令和5年度大阪府景観審議会

第1回景観ビジョン推進部会 会議要旨

開催日時：令和6年2月22日（木）14:00～16:00

出席委員：川崎委員、久部会長、林専門委員、若本委員

（選定済みスポットの変更について）

<高石市 工場夜景>

- 高石市の工場夜景について、変更後のスポットから手前の高速道路に遮られ、工場の全景が見えないのではないか。工場がはっきり見える視点場は他にないか。
→阪神高速により工場の下部は見えないが、高石市と協議したところ、アクセスが容易で水路沿いの景観と併せて工場夜景を眺められるスポットとして、府民等にも親しみを感じてもらえる場所であったことから、今回、お示ししたものである。

<茨木市 安威川ダム>

- 第3回選定の議論の際にも、事業進捗に応じて改めて議論することを確認していたもの。
- 今後、新設されるダムパークから堤体を歩いて展望台に行くという新たなルートができ、また、ダムや大阪平野を一望できるスポットとして新たに整備された展望台を選ぶので良いと思う。

（第4回ビュースポットおおさかの選定について）

- 事前審査において複数票を獲得したものの順に議論し、最終的に20か所を選定することとする。その際には、地域バランスや既に選定されているスポットとの兼ね合いなど、全体的なバランスを考慮することとする。
- 複数票を獲得した忠岡町の2案件については、視点場の近くお住まいの方などに関心を持ってもらうという意味で、新浜緑地が持つ地域の活性化力の方が大きいと感じる。また、白砂青松のある場所で、海を感じることでできるビュースポットがあっても良いと思うので、写真については海沿いの歩行空間であることがわかるものとはできないか応募者と調整してみてもどうか。
- 東大阪市の高台から望む大阪平野のうち、らくらく登山道の見晴らし広場と枚岡公園は、既選定スポットに近く、類似スポットも存在している。

○淀川河川敷から望むビル群については、過去にも同様の場所が選定されているため、関連スポットとして取り扱ってはどうか。

○視対象の枚方 T-SITE はたくさんの開口を確保しており、素晴らしい。視点場としても利用されて、駅前にふさわしい。

○大阪駅のスポットはスケールの大きいインテリア景観であり、このようなインテリア景観を選定しても良いのではないか。

○ジャンクションの夜景は、これまでも類似の事例がなく、魅力的に感じる。

○木津川水門のアーチ型水門は、更新工事により近い将来なくなってしまう。木津川水門をビュースポットに選定することで景観としての価値観を与え、水門の更新後も府民の景観への意識が保たれるようにしていただきたい。

(ビュースポットおおさかの魅力発信について)

○ビュースポットおおさかについて、府民から反響はあるか。反響や効果なども報告があるとやりがいに繋がっていく。

→景観 Instagram の「いいね」や「#ビュースポットおおさか」の数が伸びており、認知度は高まっていると感じている。引き続き積極的に取り組む。

○本日の議題にあったように、既選定のビュースポットについて視対象の変化など、状況に併せて時々見直さなければいけないと思う。市町村と連携して点検する手法もある。

○大阪府外の都道府県でもビュースポットの魅力発信を行っているか。

→兵庫県においても、「ひょうごの景観ビューポイント」という取組が展開されている。定期的に情報共有しており、引き続きどのようなことができるか考えていきたい。